

- 問1 たまごの<sup>すがた</sup>姿で生まれる動物は、たまごの中で何を使って成長しますか。
- 問2 母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して<sup>たいじ</sup>胎児とつながっている、養分などをやりとりする部分を何といいますか。
- 問3 子宮の中で<sup>たいじ</sup>胎児が浮かんでいる液体のことを何といいますか。
- 問4 <sup>たまご</sup>卵を産む動物の<sup>たまご</sup>卵の中で、子どもはどのようにして育つための養分をとり入れますか。
- 問5 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、だれからちちをもらって育ちますか。
- 問6 子宮の中にある羊水には、<sup>たいじ</sup>胎児にとってどのような大切なはたらきがありますか。
- 問7 <sup>たいじ</sup>胎児（たいじ）は、母親の体のどこで育ちますか。
- 問8 メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、<sup>たまご</sup>親が卵を産んでなかまをふやす動物を何といいますか。
- 問9 親と似た<sup>すがた</sup>姿で生まれる動物と、たまごで生まれる動物をくらべたとき、<sup>じゅせいらん</sup>受精卵の大きさにはどのようなちがいがありますか。
- 問10 親と似た<sup>すがた</sup>姿で生まれる動物の<sup>じゅせいらん</sup>受精卵が、たまごで生まれる動物の<sup>じゅせいらん</sup>受精卵よりも小さいのはなぜですか。
- 問11 おなかの中の赤ちゃん（<sup>たいじ</sup>胎児）と<sup>たいばん</sup>たいばんをつなぐ管のことを何といいますか。
- 問12 ヒトやウマ、ネコなどのように、生まれたときから親とよく似た形や<sup>とくちょう</sup>特徴をもっている動物のことを何といいますか。
- 問13 たまごの<sup>すがた</sup>姿で生まれる動物が、たまごの中でしばらく成長してから外に出てこられるのはなぜですか。
- 問14 母親の体内にある「子宮」という場所では、何が行われますか。
- 問15 母親の体内にある「へその<sup>お</sup>緒」を通して、赤ちゃんは母親との間でどのようなことをおこなっていますか。
- 問16 お母さんの子宮の中を満たしていて、ヒトの子どもがその中につかって育つ液体のことを何といいますか。

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	<b>答え</b> たまごの中にあらかじめある養分	たまごの <sup>すがた</sup> 姿で生まれる動物は、たまごの中にあらかじめ養分が用意されているため、それを使って成長します。
問2	<b>答え</b> たいばん (胎盤)	母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して <sup>たいじ</sup> 胎児とつながっている部分を <sup>たいばん</sup> たいばん (胎盤) といいます。
問3	<b>答え</b> 羊水	子宮の中で <sup>たいじ</sup> 胎児が浮かんでいる液体のことを羊水といいます。
問4	<b>答え</b> たまごの中に含まれる養分を使って育つ	<sup>たまご</sup> 卵を産む動物の子どもは、親の体から栄養をもらうのではなく、 <sup>たまご</sup> 卵の中に最初から <sup>ふく</sup> 含まれている養分を使って育ちます。
問5	<b>答え</b> 母親	生まれたばかりのヒトの子どもは、母親からちちをもらって育ちます。
問6	<b>答え</b> 外からの <sup>しょうげき</sup> 衝撃から <sup>たいじ</sup> 胎児を守るはたらき	羊水には、子宮の中で <sup>たいじ</sup> 胎児を <sup>う</sup> 浮かせることで、外からの <sup>しょうげき</sup> 衝撃から <sup>たいじ</sup> 胎児を守るはたらきがあります。
問7	<b>答え</b> 子宮 (しきゅう)	<sup>たいじ</sup> 胎児は、母親の体の中にある子宮という場所で安全に育ちます。
問8	<b>答え</b> <sup>たまご</sup> 卵を産む動物	メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が <sup>たまご</sup> 卵を産む動物のことを「 <sup>たまご</sup> 卵を産む動物」といいます。
問9	<b>答え</b> 親と似た <sup>すがた</sup> 姿で生まれる動物のほうが小さい。	親と似た <sup>すがた</sup> 姿で生まれる動物の <sup>じゅせいらん</sup> 受精卵は、たまごで生まれる動物の <sup>じゅせいらん</sup> 受精卵よりも小さくなっています。
問10	<b>答え</b> 成長に必要な養分をためこんでいないから。	親と似た <sup>すがた</sup> 姿で生まれる動物は、 <sup>じゅせいらん</sup> 受精卵の中に成長に必要な養分をためこんでいないため、 <sup>じゅせいらん</sup> 受精卵の大きさが小さくなります。
問11	<b>答え</b> へそのお	<sup>たいじ</sup> 胎児と <sup>たいばん</sup> たいばんをつなぐ管を「へそのお」といいます。 <sup>たいじ</sup> 胎児はこれを通して母親とつながっています。
問12	<b>答え</b> 親と似た <sup>すがた</sup> 姿で生まれる動物	ヒトやウマ、ネコなどは、生まれたときから親とよく似た <sup>すがた</sup> 姿をしています。このような動物を「親と似た <sup>すがた</sup> 姿で生まれる動物」といいます。
問13	<b>答え</b> たまごの中にあらかじめ養分があるから	たまごの中にはあらかじめ成長に必要な養分が入っているため、外からエサをもらわなくても、たまごの中で成長してから外に出ることができます。
問14	<b>答え</b> <sup>じゅせいらん</sup> 受精卵 (ヒトの子ども) が育つ。	子宮は、母親の体内で <sup>じゅせいらん</sup> 受精卵 (ヒトの子ども) が育つための大切な場所です。
問15	<b>答え</b> 養分や不要物の受けわたし	へそ <sup>お</sup> の緒は、母親の体内において、養分や不要物を母親との間で受けわたすための通り道として使われます。
問16	<b>答え</b> 羊水	子宮の中を満たしている液体のことを羊水といいます。ヒトの子どもはこの液体につかって育ちます。

問1 ヒトやウマ、ネコなどのように、生まれたときから親とよく似た形や特徴とくちょうをもっている動物のことを何といいますか。

問2 ヒトやウサギ、イヌなどのように、生まれたときから親とよく似た形や特徴とくちょうをもっている動物のことを何といいますか。

問3 親と似た姿すがたで生まれる動物の受精卵じゅせいらんが、たまごで生まれる動物の受精卵じゅせいらんよりも小さいのはなぜですか。

問4 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、母親から何をもらって育ちますか。

問5 受精において、女性の体内でつくられた卵たまご（卵子らんし）と結びつくものはどれですか。

問6 母親の体内にある「子宮」という場所では、何が行われますか。

問7 胎児たいじ（たいじ）は、母親の体のどこで育ちますか。

問8 メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵たまごを産んでなかまをふやす動物を何といいますか。

問9 生まれたばかりのヒトの子どもの体重である約3000gは、何kgと同じ重さですか。

問10 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、だれからちちをもらって育ちますか。

問11 ヒトの子どもは、お母さんの子宮の中でどのような状態で育ちますか。

問12 親と似た姿すがたで生まれる動物と、たまごで生まれる動物をくらべたとき、受精卵じゅせいらんの大きさにはどのようなちがいがありますか。

問13 卵たまごを産む動物の卵たまごの中で、子どもはどのようにして育つための養分をとり入れますか。

問14 おなかの中の子どもとたいばんをつなぎ、母親からの養分などを受け取るためのくたを何といいますか。

問15 母親の体内にある「へその緒お」を通して、赤ちゃんは母親との間でどのようなことをおこなっていますか。

問16 たいばんたいばん（胎盤）には、どのようなはたらきがありますか。

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物	ヒトやウマ、ネコなどは、生まれたときから親とよく似た姿 <small>すがた</small> をしています。このような動物を「親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物」といいます。
問2	答え 親と似たすがた <small>すがた</small> でうまれてくる動物	ヒトやウサギなどは、生まれたときから親とよく似た姿 <small>すがた</small> をしています。このような動物を「親と似たすがた <small>すがた</small> でうまれてくる動物」といいます。
問3	答え 成長に必要な養分をためこんでいないから。	親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物は、受精卵 <small>じゅせいらん</small> の中に成長に必要な養分をためこんでいないため、受精卵 <small>じゅせいらん</small> の大きさが小さくなります。
問4	答え ちち	生まれたばかりのヒトの子どもは、母親からちちをもらって栄養をとり、育ちます。
問5	答え 男性の体内でつくられた精子	受精は、女性の体内でつくられた卵 <small>たまご</small> （卵子）に、男性の体内でつくられた精子が結びつくことです。
問6	答え 受精卵 <small>じゅせいらん</small> （ヒトの子ども）が育つ。	子宮は、母親の体内で受精卵 <small>じゅせいらん</small> （ヒトの子ども）が育つための大切な場所です。
問7	答え 子宮（しきゅう）	胎児 <small>たいじ</small> は、母親の体の中にある子宮という場所で安全に育ちます。
問8	答え 卵 <small>たまご</small> を産む動物	メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵 <small>たまご</small> を産む動物のことを「卵 <small>たまご</small> を産む動物」といいます。
問9	答え 約3kg	1kgは1000gなので、生まれたばかりのヒトの体重である約3000gは、約3kgと同じ重さになります。
問10	答え 母親	生まれたばかりのヒトの子どもは、母親からちちをもらって育ちます。
問11	答え 羊水という液体につかった状態	ヒトの子どもは、子宮の中を満たしている羊水という液体につかって育ちます。
問12	答え 親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物のほうが小さい。	親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物の受精卵 <small>じゅせいらん</small> は、たまごで生まれる動物の受精卵 <small>じゅせいらん</small> よりも小さくなっています。
問13	答え 卵 <small>たまご</small> の中に含まれる養分 <small>ふく</small> を使って育つ	卵 <small>たまご</small> を産む動物の子どもは、親の体から栄養をもらうのではなく、卵 <small>たまご</small> の中に最初から含まれている養分 <small>ふく</small> を使って育ちます。
問14	答え へそのお	子どもとたいばんをつなぎ、母親から養分などを受け取るためのくだを「へそのお」といいます。
問15	答え 養分や不要物の受けわたし	へその緒 <small>お</small> は、母親の体内において、養分や不要物を母親との間で受けわたすための通り道として使われます。
問16	答え 胎児 <small>たいじ</small> に養分を送り、いらなくなったものを受け取るはたらき。	たいばん <small>たいばん</small> （胎盤）は、へそのおを通して胎児 <small>たいじ</small> に養分を送り、いらなくなったものを受け取るはたらきをしています。

問1 おなかのなかにいる赤ちゃん（子ども）から、母親の体の方へ送られているものはどれですか。

問2 ヒトの卵たまごの大きさを表すときに使われる「直径（ちよっけい）」とは、どのような長さのことですか。

問3 親すがたと似た姿すがたで生まれる動物と、たまごで生まれる動物をくらべたとき、受精卵じゅせいらんの大きさにはどのようなちがいがありますか。

問4 卵たまご（卵子らんし）と精子たまごが結びついてできた卵たまごのことを何とといいますか。

問5 女性の体内でつくられた卵たまご（卵子らんし）と、男性の体内でつくられた精子たまごが結びつくことを何とといいますか。

問6 母親の体内にある子宮じゅせいらんは、受精卵じゅせいらんがどのようになるための場所ですか。

問7 たまごすがたの姿で生まれる動物が、たまごの中でしばらく成長してから外に出てこられるのはなぜですか。

問8 母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して胎児たいじとつながっている、養分などをやりとりする部分を何とといいますか。

問9 ヒトの子どもは、お母さんの子宮の中でどのような状態で育ちますか。

問10 おなかの中の赤ちゃんたいじ（胎児）は、へそのおを使ってどのようなことをしていますか。

問11 卵たまごを産む動物の卵たまごの中で、子どもはどのようにして育つための養分をとり入れますか。

問12 たいばんたいばん（胎盤）には、どのようなはたらきがありますか。

問13 受精において、女性の体内でつくられた卵たまご（卵子らんし）と結びつくものはどれですか。

問14 おなかの中の子どもが、母親から養分などを受け取るために「へそのお」がつながっている相手はどこですか。

問15 たまごすがたの姿で生まれる動物は、たまごの中で何を使って成長しますか。

問16 子宮の中にあり、おなかの赤ちゃんが母親から養分など必要なものをもらい、いらぬものをわたす場所を何とといいますか。

## 答え合わせ・解説 No.3

問1	答え いないもの	子どもから母親へは、体の中でできた不要な（いらぬ）ものが送られます。母親から子どもへは養分が送られます。
問2	答え 卵の中心を通る、端から端までのまっすぐな長さ	直径とは、丸い形の中心を通る、端から端までのまっすぐな長さのことです。ヒトの卵の直径は約0.14mmです。
問3	答え 親と似た姿で生まれる動物のほうが小さい。	親と似た姿で生まれる動物の受精卵は、たまごで生まれる動物の受精卵よりも小さくなっています。
問4	答え 受精卵	卵（卵子）と精子が結びつくことを受精といい、結びついてできた卵を受精卵といいます。
問5	答え 受精	女性の体内でつくられた卵（卵子）と、男性の体内でつくられた精子が結びつくことを受精といいます。
問6	答え 成長し、生まれてくるまで育つため	子宮は、受精卵が母親の体内で成長し、生まれてくるまで育つための特別な場所です。
問7	答え たまごの中にあらかじめ養分があるから	たまごの中にはあらかじめ成長に必要な養分が入っているため、外からエサをもらわなくても、たまごの中で成長してから外に出ることができます。
問8	答え たいばん（胎盤）	母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して胎児とつながっている部分をたいばん（胎盤）といいます。
問9	答え 羊水という液体につかった状態	ヒトの子どもは、子宮の中を満たしている羊水という液体につかって育ちます。
問10	答え 母親から養分をもらったり、いらなくなったものを母親に返したりする。	胎児はへそのおを通して、母親から成長に必要な養分をもらい、いらなくなったものを母親に返しています。
問11	答え 卵の中に含まれる養分を使って育つ	卵を産む動物の子どもは、親の体から栄養をもらうのではなく、卵の中に最初から含まれている養分を使って育ちます。
問12	答え 胎児に養分を送り、いらなくなったものを受け取るはたらき。	たいばん（胎盤）は、へそのおを通して胎児に養分を送り、いらなくなったものを受け取るはたらきをしています。
問13	答え 男性の体内でつくられた精子	受精は、女性の体内でつくられた卵（卵子）に、男性の体内でつくられた精子が結びつくことです。
問14	答え たいばん	へそのおは、子どもとたいばんをつないでおり、たいばんを通して母親から養分などを受け取ります。
問15	答え たまごの中にあらかじめある養分	たまごの姿で生まれる動物は、たまごの中にあらかじめ養分が用意されているため、それを使って成長します。
問16	答え たいばん	子宮の中にあり、母親から養分をもらったり、いらぬものをわたしたりする場所をたいばんといいます。

- 問1 ヒトの子どもは、生まれるまでに母親の体内で約何週間育てられますか。
- 問2 子宮の中で胎児たいじが浮かんでいる液体のことを何といいますか。
- 問3 メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵たまごを産んでなかまをふやす動物を何といいますか。
- 問4 生まれたばかりのヒトの赤ちゃんの身長（約50cm）を、2人分まっすぐにつなげると、およそ何mになりますか。
- 問5 ヒトの子どもは、母親の体の中にある何という場所で育ちますか。
- 問6 受精卵じゅせいらんが母親の体内で成長し、生まれてくるまで育つ場所はどこですか。
- 問7 ヒトの子どもは、受精してから誕生たんじょうするまでに、母親の体の中で約何週間育ちますか。
- 問8 親と似た姿すがたで生まれる動物の受精卵じゅせいらんが、たまごで生まれる動物の受精卵じゅせいらんよりも小さいのはなぜですか。
- 問9 母親の体内にある子宮は、受精卵じゅせいらんがどのようなようになるための場所ですか。
- 問10 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、母親から何をもらって育ちますか。
- 問11 女性の体内でつくられた卵たまご（卵子らんし）と、男性の体内でつくられた精子が結びつくことを何といいますか。
- 問12 親と似た姿すがたで生まれる動物と、たまごで生まれる動物をくらべたとき、受精卵じゅせいらんの大きさにはどのようなちがいがありますか。
- 問13 母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して胎児たいじとつながっている、養分などをやりとりする部分を何といいますか。
- 問14 親と似た姿すがたで生まれる動物は、生まれ出てきたあと、だれから何をもらって育ちますか。
- 問15 おなかの中の赤ちゃんたいじ（胎児）とたいばんをつなぐ管のことを何といいますか。
- 問16 受精において、女性の体内でつくられた卵たまご（卵子らんし）と結びつくものはどれですか。

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 約38週間	ヒトの子どもは、母親の体内で約38週間かけて十分に育てられてから生まれます。
問2	答え 羊水	子宮の中で胎児 <small>たいじ</small> が浮かんでいる液体のことを羊水といいます。
問3	答え 卵 <small>たまご</small> を産む動物	メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵 <small>たまご</small> を産む動物のことを「卵 <small>たまご</small> を産む動物」といいます。
問4	答え 約1m	生まれたばかりのヒトの赤ちゃんの身長は約50cmなので、2人分合わせると100cm、つまり約1mになります。
問5	答え 子宮（しきゅう）	ヒトの子どもは、母親の体の中にある「子宮」という特別な場所で大切に育てられます。
問6	答え 子宮	受精卵 <small>じゅせいらん</small> が母親の体内で成長し、生まれてくるまで安全に育つ場所を子宮といいます。
問7	答え 約38週間	ヒトの子どもは、受精してから約38週間かけて母親の子宮の中で育ち、誕生します。
問8	答え 成長に必要な養分をためこんでいないから。	親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物は、受精卵 <small>じゅせいらん</small> の中に成長に必要な養分をためこんでいないため、受精卵 <small>じゅせいらん</small> の大きさが小さくなります。
問9	答え 成長し、生まれてくるまで育つため	子宮は、受精卵 <small>じゅせいらん</small> が母親の体内で成長し、生まれてくるまで育つための特別な場所です。
問10	答え ちち	生まれたばかりのヒトの子どもは、母親からちちをもらって栄養をとり、育ちます。
問11	答え 受精	女性の体内でつくられた卵 <small>たまご</small> （卵子 <small>らんし</small> ）と、男性の体内でつくられた精子が結びつくことを受精といえます。
問12	答え 親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物のほうが小さい。	親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物の受精卵 <small>じゅせいらん</small> は、たまごで生まれる動物の受精卵 <small>じゅせいらん</small> よりも小さくなっています。
問13	答え たいばん（胎盤）	母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して胎児 <small>たいじ</small> とつながっている部分をたいばん（胎盤 <small>たいばん</small> ）といえます。
問14	答え 母親からちちをもらって育ちます。	親と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物は、生まれ出てきたあと、しばらくのあいだ母親からちちをもらって育つという特徴 <small>とくちょう</small> があります。
問15	答え へそのお	胎児 <small>たいじ</small> とたいばんをつなぐ管を「へそのお」といいます。胎児はこれを通して母親とつながっています。
問16	答え 男性の体内でつくられた精子	受精は、女性の体内でつくられた卵 <small>たまご</small> （卵子 <small>らんし</small> ）に、男性の体内でつくられた精子が結びつくことです。

- 問1 たまごの<sup>すがた</sup>姿で生まれる動物は、たまごの中で何を使って成長しますか。
- 問2 子宮の中にある「たいばん」は、おなかの赤ちゃんにとってどのような<sup>やくわり</sup>役割をもつ場所ですか。
- 問3 おなかのなかにいる赤ちゃん（子ども）から、母親の体の方へ送られているものはどれですか。
- 問4 子宮の中にあり、おなかの赤ちゃんが母親から養分など必要なものをもらい、いらぬものをわたす場所を何といいますか。
- 問5 子宮の中で<sup>たいじ</sup>胎児が浮かんでいる液体のことを何といいますか。
- 問6 次のうち、生まれたときから親とよく似た形をしていて、「親と似た<sup>すがた</sup>姿で生まれる動物」のなかまであるものはどれですか。
- 問7 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、だれからちちをもらって育ちますか。
- 問8 ヒトの子どもは、母親の体の中にある何という場所で育ちますか。
- 問9 母親の体内にある子宮は、<sup>じゅせいらん</sup>受精卵がどのようになるための場所ですか。
- 問10 おなかの中の子どもが、母親から養分などを受け取るために「へそのお」がつながっている相手はどこですか。
- 問11 子宮の中にある羊水には、<sup>たいじ</sup>胎児にとってどのような大切なはたらきがありますか。
- 問12 ヒトの子どもは、受精してから<sup>たんじょう</sup>誕生するまでに、母親の体の中で約何週間育ちますか。
- 問13 <sup>たまご</sup>卵（卵子）と<sup>らんし</sup>精子が結びついてできた<sup>たまご</sup>卵のことを何といいますか。
- 問14 メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が<sup>たまご</sup>卵を産んでなかまをふやす動物を何といいますか。
- 問15 母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して<sup>たいじ</sup>胎児とつながっている、養分などをやりとりする部分を何といいますか。
- 問16 ヒトの子どもは、生まれるまでに母親の体内で約何週間育てられますか。

## 答え合わせ・解説 No.5

問1	答え たまごの中にあらかじめある養分	たまごの姿 <small>すがた</small> で生まれる動物は、たまごの中にあらかじめ養分が用意されているため、それを使って成長します。
問2	答え 母親から養分など必要なものをもらい、いら ないものをわたす場所。	たいばんは、赤ちゃんが母親から成長に必要な養分をもらい、いら <small>やくわり</small> ないものを母親にわたす役割をもっています。
問3	答え いら <small>ない</small> もの	子どもから母親へは、体の中でできた不要な（いら <small>ない</small> ）ものが送られます。母親から子どもへは養分が送られます。
問4	答え たいばん	子宮の中にあり、母親から養分をもらったり、いら <small>ない</small> ものをわたしたりする場所をたいばんといいます。
問5	答え 羊水	子宮の中で胎児 <small>たいじ</small> が浮かんでいる液体のことを羊水といいます。
問6	答え ウマ	ウマは生まれたときから親とよく似た姿 <small>すがた</small> をしています。カエルやカブトムシ、アゲハチョウは、生まれたときは親とまったくちがう姿 <small>すがた</small> をしています。
問7	答え 母親	生まれたばかりのヒトの子どもは、母親からちちをもらって育ちます。
問8	答え 子宮（しきゅう）	ヒトの子どもは、母親の体の中にある「子宮」という特別な場所で大切に育てられます。
問9	答え 成長し、生まれてくるまで育つため	子宮は、受精卵 <small>じゅせいらん</small> が母親の体内で成長し、生まれてくるまで育つための特別な場所です。
問10	答え たいばん	へそのおは、子どもとたいばんをつないでおり、たいばんを通して母親から養分などを受け取ります。
問11	答え 外からの衝 <small>しょうげき</small> 撃から胎児 <small>たいじ</small> を守るはたらき	羊水には、子宮の中で胎児 <small>たいじ</small> を浮かせることで、外からの衝 <small>しょうげき</small> 撃から胎児 <small>たいじ</small> を守るはたらきがあります。
問12	答え 約38週間	ヒトの子どもは、受精してから約38週間かけて母親の子宮の中で育ち、誕生します。
問13	答え 受精卵	卵 <small>たまご</small> （卵子）と精子が結びつくことを受精といい、結びついてできた卵を受精卵 <small>たまご じゅせいらん</small> といいます。
問14	答え 卵 <small>たまご</small> を産む動物	メダカやカエル、サケ、ニワトリなどのように、親が卵 <small>たまご</small> を産む動物のことを「卵 <small>たまご</small> を産む動物」といいます。
問15	答え たいばん（胎盤）	母親の子宮のかべにあり、へそのおを通して胎児 <small>たいじ</small> とつながっている部分をたいばん（胎盤） <small>たいばん</small> といいます。
問16	答え 約38週間	ヒトの子どもは、母親の体内で約38週間かけて十分に育てられてから生まれます。